

報道関係者各位

2024年3月14日  
特別民間法人 中央労働災害防止協会

## 日本国内の外国人労働者を対象に 安全衛生のオンライン研修をスタート ～Smile Asia Safety Project II～

中央労働災害防止協会（中災防：会長 十倉雅和（日本経済団体連合会会長））は、日本国内の製造現場等で働く外国人労働者を対象に、安全衛生の基本的なルール等について学べるオンライン研修事業をはじめました。

外国人労働者が異国である日本においても安心して安全に働くことは、企業の大きな責務です。しかし、日本と母国との文化や習慣の違い、日本人とのミスコミュニケーション等から、安全衛生に関する基本的なルールが守られずケガや災害に至るケースが多くあります。これまで中災防では、海外に進出する日本企業等を対象に、拠点先の労働者に対して日本の労働安全衛生分野のノウハウや経験を伝えるオンライン研修「Smile Asia Safety Project」を実施してまいりましたが、この度、日本国内で働く外国人労働者を対象に「Smile Asia Safety Project II」として新プログラムを構築しました。

本研修「外国人労働者向け安全衛生基礎研修」は企業からの依頼に基づき、現場の作業者を対象にオンラインでつなぎ、「労働災害はなぜ起きる？」「ルールを守ろう」「保護具は必ず着用」等のトピックスについて、基礎的な日本語（日本語能力試験「N4」程度）によるパワーポイント説明資料および母国語（タイ語・ベトナム語・中国語・インドネシア語・タガログ語・ミャンマー語・クメール語・ネパール語等）のサブテキストを交えて、安全衛生の専門家が丁寧に解説します（別紙）。

1 研修につき定員は最大 50 名で、日本国内の事業場に拠点単位で参加いただきます。研修時間は 3 時間程度です。オンライン以外にも、希望に応じて専門家が事業場に出張して対面で開講することもできます。

中災防では、上記の日本で働く外国人労働者の安全衛生教育の実施の他、2025 年度におけるタイでの安全衛生大会の開催や、外国語に対応した安全行動調査の実施などを通じて、外国人労働者への安全衛生サービスの充実を図ってまいります。

Smile Asia Safety Project II は中災防 Web サイトでご覧いただけます。

<https://www.jisha.or.jp/international/co-ope/smile-asia-safety2.html>



※この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、鉄鋼研究会に配布しています。

【担当】 技術支援部長 樋口 政純

【照会先】 総務部広報課長 高須 幸治 電話 03-3452-6542 E-mail koho@jisha.or.jp

— オンラインを活用した外国人労働者の安全衛生活動支援事業 —  
中央労働災害防止協会

# Smile Asia Safety Project II Start !

対象者：日本国内の製造現場等で働く外国人労働者向け

（研修実施言語：日本語（日本語能力試験「N4」程度））

（サブテキストの言語はタイ語・ベトナム語・中国語・インドネシア語・タガログ語・  
ミャンマー語・クメール語・ネパール語等より選択）

中災防は、外国人労働者の安全衛生活動、そして笑顔を応援します。



*Business and Human Rights*

**+** 個別の事業場からのご依頼に基づき、中災防と日本国内の製造現場等国内拠点をオンライン（Zoom）で繋ぎ、日本国内で働く外国人労働者を対象に、安全衛生の専門家が安全衛生に関する基本的順守事項（「労働災害はなぜ起こる？」「ルールを守ろう」「保護具の着用」「作業手順は必ず守る」「機械の動いている部分には手を出さない」等）について、基礎的な日本語（日本語能力試験「N4」程度）で解説し、外国人労働者の安全衛生意識の向上と労働災害の防止を目指します。詳しくは裏面もしくは上記QRコードよりホームページをご確認下さい。



## プロジェクトの実施概要

外国人労働者が異国である日本においても安心して安全に働くことは、企業の大きな責務です。しかしながら、日本と母国との文化や習慣の違い、日本人とのミスコミュニケーション等から、安全衛生に関する基本的なルールが守られずケガや災害に至るケースが多くあります。そこで、外国人労働者が守らないといけない安全衛生上の基本的なルール等について、基礎的な日本語(日本語能力試験「N4」程度)で分かりやすく伝え、災害防止と安全衛生意識の向上を目指します。

科目	時間	目的・内容
<p>外国人労働者向け安全衛生基礎研修</p> <p>講義の言語…基礎的な日本語(日本語能力試験「N4」程度)</p> <p>サブテキストの言語…タイ語・ベトナム語・中国語・インドネシア語・タガログ語・ミャンマー語・クメール語・ネパール語等(複数選択も可能です)。</p>    <p>(サブテキストA)</p>	<p>3時間程度</p>	<p>企業側からの依頼にもとづき、現場の作業者を対象に以下のトピックスについて、基礎的な日本語によるパワーポイント説明資料及び母国語のサブテキスト等を交えて丁寧に解説します。</p> <p>対象となる事業場は、基本的に日本国内の事業場を想定しています。各拠点(各グループ会社)ごとにまとめてご参加いただきます。なお、定員は最大50名とし、それ以上の場合は別途、規程の追加料金を請求させていただきます。また、事業場での実施を希望される方はあらかじめ事務局にご相談下さい。</p> <p>研修トピックス(例)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 労働災害はなぜ起こる?</li> <li>② ルールを守ろう(安全表示の理解含む)</li> <li>③ 作業に適した服装で身なりを整えて</li> <li>④ 保護具は必ず着用</li> <li>⑤ 決められた通路を歩く</li> <li>⑥ 作業場はいつもきれいに</li> <li>⑦ 作業手順とは</li> <li>⑧ 作業手順は必ず守る</li> <li>⑨ 機械の動いている部分には手を出さない</li> <li>⑩ 安全装置は無効にしない</li> <li>⑪ 作業前には必ず点検</li> <li>⑫ 小さな異常も報告を</li> <li>⑬ 異常があれば、止めて・呼ぶ・待つ</li> <li>⑭ 電気は怖い。感電注意</li> <li>⑮ 有害物はルールを守って取り扱う</li> <li>⑯ 健康診断は必ず受けよう</li> <li>⑰ 災害を発見したら、まずまわりに知らせる</li> <li>⑱ 救助は安全を確保してから</li> <li>⑲ ストレスには早めのケアを</li> <li>⑳ わからないときは「わかりません」</li> </ol> <p>理解度テスト(自己採点)</p> <p>※通信環境について 本研修ではZoomのアプリケーションを使用します。研修に必要な配信機材等は中災防が準備し、中災防の会議室から配信を行います。企業側はオンライン回線、接続機器、パソコン、ウェブカメラ等が使用できる環境を各拠点ごとにご準備いただきます。</p> <p>※サブテキストA「やさしい日本語で学ぶ 初めて日本で働く方のための安全・健康に仕事をする」(中災防発行)及びサブテキストB「マンガでわかる働く人の安全と健康」(PDF版)(厚生労働省作成)等を使用します。</p> <p>※具体的な申込方法につきましては、ホームページでご確認下さい。</p>

開催費用	料金(消費税込み)
<p>外国人労働者向け安全衛生基礎研修の講習料(3時間程度)</p> <p>※通訳が必要な場合は、別途、申込者で通訳者を手配下さい。</p> <p>※サブテキスト「やさしい日本語で学ぶ 初めて日本で働く方のための安全・健康に仕事をする」(中災防発行)(税込550円)は、別途、参加人数分をご購入いただきます。</p>	<p>賛助会員106,200円 一般118,000円 (サブテキストAは別途請求)</p>